

NO. 1 事業名 広域営農団地農道整備事業（国補・県単）

箇所・地区名 とうさんとうぶ 東山東部

平成25年度公共事業事後評価調書

1. 事業説明シート(1)

(区分) **国補**・**県単**

事業名	広域営農団地農道整備事業(国補・県単)		事業箇所	甲州市塩山・勝沼町		地区名	東山東部		事業主体	山梨県	
(1)事業着手年度	H1年度		(2)事業期間	H1年度～H20年度		(3)完了後経過年数	5年		(4)総事業費	14,954百万円	
(5)事業着手時点の課題・背景						(8)事業位置図等					
<p>本広域農道が位置する甲州市は、「ブドウづくり1300年」、「ワインづくり130年」の歴史を持ち、国営笛吹川沿岸農業水利事業を基幹とした畑地かんがいの施設の整備により、モモやスモモをはじめとした多彩な果物の高品質で安定した生産体系の基盤が確立され、山梨を代表する日本屈指の果樹産地となっている。</p> <p>しかし、流通面においては、農産物の生産量が拡大する中、特にモモの開花期やブドウ狩りの時期には、県内外からの車が増加するために大型車による農産物の輸送に支障を来していた。</p> <p>このため、一大果樹地帯を北端から南端までを結ぶとともに、「中央道」や「広域農道東山地区」などと連絡することにより、輸送の合理化や沿線農地の利便性の向上、集落間のアクセス向上、さらには、観光客の流入増加を図り、地域農業が持続的に発展するよう事業に取り組んだ。</p>											
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果											
(事前評価未実施)											
<input type="checkbox"/> 主要目標 ・集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 <input type="checkbox"/> 副次目標 ・歩行者等の安全性の確保 <input type="checkbox"/> 副次効果 ・農林産物の販売促進 ・他事業との一体施工											
(7)整備内容(目標達成の方法)											
農道工 延長L=10,164m、 幅員W=7.0m(車道幅員5.5m) 道路区分 3種4級、 設計速度 40km/h											

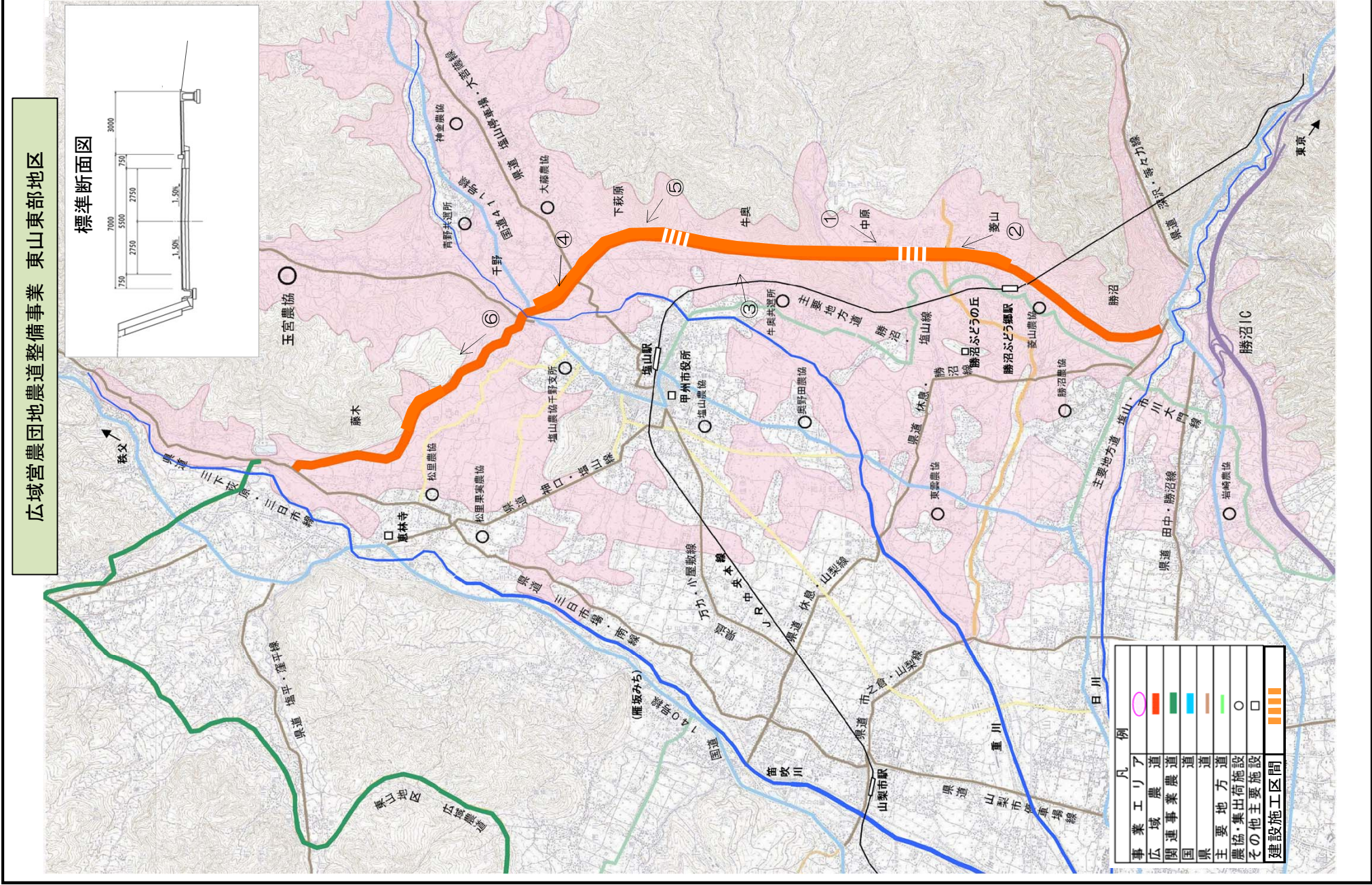
2. 評価シート（1）

<p>(1)事業貢献度 < (良) ・ 不良 ></p> <p>(理由)</p> <p>基幹農道が整備されたことにより、集出荷施設からの農産物輸送が効率的になるばかりか都市住民の入り込み客の増加に伴う一般交通車両と農業交通車両とのすれ違いが改善されるなど、生活道路としても利便性の向上に大きく貢献している。</p> <p>① 主要目標 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>指標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> <tr> <td>4.0m以上道路延長率</td> <td>79.5%以上→設定せず</td> <td>100 %</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価</p> <p>当該ルートにおいて、全幅員4.0m以上の延長率28% (2,845m/10,164m) 「基準値79.5%以上」であったが、現時点では事業の完成により4m未満の区間は全て7mに改良された。</p> <p>② 副次目標 歩行者等の安全性確保</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>指標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> <tr> <td>通学路の指定</td> <td>通学路なし</td> <td>通学路指定あり</td> </tr> <tr> <td>現況歩道幅員</td> <td>0m</td> <td>3.0m</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価</p> <p>地域や市町村と協議し歩道を設置した。現在、市教育委員会が指定する小学校の通学路になっており、歩行者の安全確保に効果を発揮している。</p> <p>③ 副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>農林産物の販売促進</td> <td>観光客の流入の増加とともに沿線には観光農園が開設され、農産物の販売が促進されている。</td> </tr> <tr> <td>他事業との一体施工</td> <td>県、市が協議調整のうえ、広域農道、市町村道を一体的に整備したため、効率的な事業実施が図られた。</td> </tr> </table>	指標	着手時点数値等	評価時点数値	4.0m以上道路延長率	79.5%以上→設定せず	100 %	指標	着手時点数値等	評価時点数値	通学路の指定	通学路なし	通学路指定あり	現況歩道幅員	0m	3.0m	項目	内容	農林産物の販売促進	観光客の流入の増加とともに沿線には観光農園が開設され、農産物の販売が促進されている。	他事業との一体施工	県、市が協議調整のうえ、広域農道、市町村道を一体的に整備したため、効率的な事業実施が図られた。	<p>(2)費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 < (有) ・ 無 ></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>項目</th> <th>着手時点の計画</th> <th>事後評価時点の実績</th> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>10,244百万円</td> <td>14,954百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H1~H19</td> <td>H1~H20</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>10,838百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>11,402百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.22</td> </tr> </table> <p>※ 平成16年度再評価地区 総事業費 15,928百万円、工期 H1~H19に見直し</p> <p>(要因変化の分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総事業費、費用：塩山市街を中心に主要道路が放射状に伸び、本農道はこれを有機的に結ぶ形となっているが、傾斜地の交差部分ではその取り付け区間において大型の構造物が必要となったため事業費が増額した。 ・ 便益：新規作物のサクランボによる観光農園等転換効果の増に伴う便益額の増加。 <p>(3)事業実施による環境の変化 < (有) ・ 無 ></p> <p>① 自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路側構造物の上段は土羽とし、植生を行なうことで小動物が移動・生息できる環境を創出した。また、盛土区間として計画した下萩原工区においては公共残土を積極的に受け入れるなど環境に配慮した。 <p>② 生活・居住環境等への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 甲州フルーツマラソンや健康ウォーキングコースとして県内外に広くPRされ、観光客流入のメインルートとして活用されている。 ・ 隣接の山梨市、笛吹市など市町村間を結ぶルートとして利便性が高い。 <p>③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	10,244百万円	14,954百万円	工期	H1~H19	H1~H20	経済効率性	費用	10,838百万円	便益	11,402百万円	B/C	1.05			1.22
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																							
4.0m以上道路延長率	79.5%以上→設定せず	100 %																																							
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																							
通学路の指定	通学路なし	通学路指定あり																																							
現況歩道幅員	0m	3.0m																																							
項目	内容																																								
農林産物の販売促進	観光客の流入の増加とともに沿線には観光農園が開設され、農産物の販売が促進されている。																																								
他事業との一体施工	県、市が協議調整のうえ、広域農道、市町村道を一体的に整備したため、効率的な事業実施が図られた。																																								
項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																							
総事業費	10,244百万円	14,954百万円																																							
工期	H1~H19	H1~H20																																							
経済効率性	費用	10,838百万円																																							
	便益	11,402百万円																																							
	B/C	1.05																																							
		1.22																																							

評価シート（2）

<p>(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 〉</p>
<p>① 社会経済状況の変化 ・なし</p> <p>② 関連計画・関連事業の状況の変化 ・なし</p> <p>③ 事業環境等の変化 ・なし</p>	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路路肩の保護や土留めの安定を図るため、ブロック積工や転落防止施設が増となり事業費が増額となった。 <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画時において、事前調査等をより一層入念に行い、適切な事業費を算定するよう努める。
<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設間のアクセス向上により農産物の輸送が合理化されているとともに、観光客の流入も増加するなど十分な効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ないと思われる。 <p>□「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期： 年度 ・方法： 	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(9) その他特筆すべき事項 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>(具体的改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし

3.添付資料シート(1)



添付資料シート(2)



①【集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上】
広域農道を利用したモモの出荷（集出荷施設から勝沼ICへ）



②【歩行者等の安全性の確保】
歩道が整備され通学の安全が確保された。



③【農林産物の販売促進】
果樹の収穫期には、周辺の観光農園や直売所が賑わいをみせる。



④ 果樹景観が維持されており、開花時期には観光客が訪れる。



⑤ 沿線のサクランボ園の中を抜ける観光バス。



⑥ 農道からの眺望が美しく、ウォーキングイベントには県内外から大勢の人が訪れている。